

ま え が き

本校は、我が国の技術立国を支える創造力と実行力を持った実践的技術者の養成を目的に創設された高等専門学校制度において、その第一期校の一つとして、昭和 37 年度に設立されました。開校以来、5 年間一貫の技術教育の下、高等専門学校の設立の目的に沿った有為な技術者の養成に努めてきています。また、平成 16 年 4 月からは、独立行政法人化に伴い国立高等専門学校機構の下で運営されています。この間、学科の新設や見直し、専攻科の設置及び複合型システム工学教育プログラム（日本技術者教育認定機構（JABEE）対応プログラム）の創設、産学連携・地域連携の中核を担う地域共同テクノセンターの設置、系統的なキャリア教育の中核を担うキャリア教育センターの創設等を含む、多くの改革等を進めてきております。

本校が高等教育機関・組織としてその設立目的や設定した目標に沿って十分に機能しているかどうかを真摯に判断するためには、継続的な自己点検評価及び外部評価等に基づく課題の把握が不可欠です。また、把握された課題については、それを克服・改善するための不断の努力の積み重ねが必要・不可欠なものと考えています。本校では、平成 17 年 9 月に、平成 16 年度より実施した自己点検評価の結果を報告書（「自己点検・評価報告書―函館高専の現状・課題と改善の方向について―」）として取り纏め公表するとともに、これに基づき外部有識者の皆様から評価をいただいた結果を、平成 18 年 3 月に、外部評価報告書として取り纏め公表したところです。さらに、本年度は、複合型システム工学教育プログラムについて、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定審査を受けており、現在、その最終結果の通知を待っているところです。

平成 17 年 9 月に公表した自己点検評価では、評価項目毎に、「現状」を見据え、それに対する自らの「評価」を行い、そこで浮き彫りにされた「改善」項目を取り纏めましたが、平成 18 年度においては、自ら認識したあるいは外部評価において指摘された改善項目について、改善努力の結果ないしは進捗状況の把握を中心として自己点検評価を実施しました。本報告書は、その結果を取り纏め、公表するものです。外部評価委員の皆様をはじめとして、多くの皆様からのご評価を頂戴したいと願っております。頂戴できた貴重なご意見等をも踏まえ、自己改革の努力を一層積み重ねる所存でおります。よろしくごお願い申し上げます。

平成 19 年 2 月 1 日

函館工業高等専門学校長 長谷川 淳